〒169-0075　東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1F
TEL: 03-3363-7561 / FAX: 03-3363-7562
URL http://www.peaceboat.org　E-mail info@peaceboat.gr.jp

ピースボールプロジェクト
2011 年活動報告

●ピースボート「PEACE BALL」プロジェクト
http://www.peaceboat.org/project/ball/

1999年より活動するNGO「ピースボート」の公認プロジェクト。ピースボートがコーディネートする国際交流の船旅で、アフリカのエリトリアを訪れた際、ペットボトルをボール代わりにサッカーをする子どもたちがいることを知り、日本で　サッカーボールを集め、世界各地の子どもたちに届けてた。その数はこれまでに43カ国に12,000個以上。サッカーによる国際交流と、国境を越えた人と人とのつながりを築くことを目的に活動を続けている。

●国際NGO「ピースボート」　http://www.peaceboat.org/

国際交流の船旅をコーディネートする日本のNGO。1983年の設立以来、180以上の世界の港をめぐり、延べ5万人以上の人々の参加を実現。世界各地での交流を通じて、「平和」「人権」「環境」「グローバリゼーション」などの様々な問題に取り組んでいるほか、国連経済社会理事会との特別協議資格を持ち、地球規模での市民・NGOのネットワークづくりも積極的に行っている。

ピースボート・ピースボールプロジェクト
三浦茂晴

〒169-0075　東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL：03-3363-7561　FAX：03-3363-7562
E-MAIL：p-ball@peaceboat.gr.jp
URL:http://www.peaceboat.org/project/ball/

【支援先 1】モロッコ（カサブランカ）
青少年スポーツ省スポーツ庁長官／青少年スポーツ省カサブランカ市地域代表

＜モロッコへ届けた物資＞

サッカーボール 469 個、ユニフォーム 200 着、ハーフパンツ 50 着、ジャージ 100 着、スポーツシューズ 300 足

※2011 年 3 月 10 日　第 72 回クルーズにて

※2011 年 6 月 2 日　第 73 回クルーズにて

トルシエ氏の縁のあるモロッコ（カサブランカ）へ 2011 年 3 月 10 日、および 6 月 2 日にそれぞれ寄港し、船が停泊する岸壁での贈呈式、船内見学を行いました。
青少年スポーツ省スポーツ庁長官サイード・エル・ブカリさん（Directeur des Sports au Ministere de la Jeunesse et des Sports　MR.　Said EL BOUKHARI）、そして青少年スポーツ省カサブランカ市地域代表バヒ・アブデルマウイトさん（regional delegate of sport ministry of casablanca MR.BAHI　ABDELMOUGHIT）に訪問していただき、無事、受け渡すことができました。お二方からカサブランカのストリートチルドレンの子ども達へ渡していただくことになりました。

【支援先 2】コロンビア（カルタヘナ）
パレンケ村とコレヒオ・デル・クエルポ

＜コロンビアへ届けた物資＞

サッカーボール67個

※パレンケ村へ

※コレヒオ・デル・クエルポへ

コロンビアの内戦で土地を追われて黒人コミュニティーへ移り住んできた貧しい家族・子ども達（現在は世界無形遺産パレンケ村に住んでいる）、また、内戦や貧困、麻薬など、難しい社会問題からダンスや芸術・スポーツを通じて、乗り越えていこうと活動する団体、コレヒオ・デル・クエルポへ届けました。

【支援先 3】インド（コーチン）
サッカーチーム MEETHA TOURS & TRAVELS

＜インドに届けた物資＞

サッカーボール 20 個、スポーツシューズ 20 足、ユニフォーム 27 着

南インドのケーララ州では、教育、環境、保健、医療など州や中央政府と力を入れてプロジェクトを行っており、子ども達の教育に関しても非常に力を入れています。今回物資を届けた南インドのサッカーチーム MEETHA TOURS & TRAVELS では、以前ピースボールプロジェクトで手渡したサッカーボールで練習をしていました。

【支援先 4】メキシコ（マンサニージョ）
サッカーチーム Gobierno Municipal Manzanillo

＜メキシコに届けた物資＞

サッカーボール 30 個

ピースボートで毎回訪れるマンサニージョ市内のサッカーチーム Gobierno Municipal Manzanillo の子ども達へ届けました。こちらもインド同様、馴染み深い地域で、以前届けたサッカーボールを使って交流試合を行いました。

【支援先 5】フィリピン（マニラ）
ケソン州ポリリオ島の小学生、ホームレスワールドカップフィリピン代表チーム
マニラ市内のスラム街の子ども達

＜フィリピンに届けた物資＞

サッカーボール 252 個、スポーツシューズ 857 足、他 491 点

※全 13 チーム（総勢 150 名）で大交流

フィリピンでは、所得格差や貧困が社会問題として蔓延していることを背景に、ボールやスパイクなどのサッカー用品が慢性的に不足している状況にあります。支援先であるケソン州ポリリオ島では、島民の 60%は 1 日 100 円以下の生活を強いられていることから、サッカーボールはもちろん、シューズなどもほとんどなく、今でも多くの子ども達は素足でサッカーをしています。今回はフィリピンサッカー協会の協力の下、ポリリオ島の子ども達や、ホームレスワールドカップ(*)出場のフィリピン代表チームへの支援を行いました。

※ポリリオ島の島の子ども達

※ホームレスワールドカップフィリピン代表チーム

(*)「ホームレス・ワールドカップ」は、世界中のホームレスの人が選手として参加するミニサッカーの世界大会。
世界中のホームレスの人たちに生きる希望を見出してもらうこと、貧困問題や人間の可能性について考えてもらうことをテーマに掲げています。

【支援先 6】ペルー（カヤオ）

砂漠にできた住民自治区ビジャ・エルサルバドル（スラム街の住民たちによって作り上げられた街）

＜ペルーへ届けた物資＞

サッカーボール 16 個、ユニフォーム　60 着

※ビジャ・エルサルバドルの街の風景

※地元メディアから取材を受けました。

砂漠の土地不法占拠から始まったこのビジャ・エルサルバドルという街は、今では住民の意見を反映した都市計画によってスラム街から大きな街へと成長しました。1987 年には国連より「ピースメッセンジャー都市」として称えられ、ノーベル平和賞にノミネートされたこともありました。しかし、極左武装組織がこの街に流入した 1980 年後半から 90 年代初めには、暴力に反対する多くのリーダーや市民がテロで命を落とすという悲しい時期もありました。物資を届けたビジャ・エルサルバドルの CAJ（若者たちのもうひとつの家）では、青少年にスポーツや文化活動を通じて犯罪や麻薬などの道に走らないように促す活動をしています。

以上、長文にも関わらずご一読いただきありがとうございました。
また何かご不明な点等ありましたら、お気軽にご連絡ください。今後ともよろしくお願いいたします。

ピースボート＜PEACE BOAT＞
URL：http://www.peaceboat.org

ピースボールプロジェクト担当　三浦 茂晴　＜Shigeharu　Miura＞
E-mail：p-ball@peaceboat.gr.jp
ピースボールプロジェクト：http://www.peaceboat.org/project/ball
ピースボールブログ：http://ameblo.jp/peace-ball-project/